

採点基準 世界史

※以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは<>でくくり、得点として+1 を付けています)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

※学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう。

第 1 問 16 世紀後半から 17 世紀末の英仏蘭関係史 (配点 20 点)

1 オランダの独立と覇権 ※下線は指定語句

- ① スペインがオランダに旧教を強制したこと…1 点
- ② ①に対して、オランダの新教徒が独立戦争を起こしたこと…1 点
- ③ ②をイギリスが支援したこと…1 点
- ④ オランダが連邦制の共和国として独立を達成したこと…1 点
- ⑤ ④の後、アンボyna事件でイギリスを東南アジアから駆逐したこと…1 点
- ⑥ ⑤の後、オランダが香辛料貿易を独占したこと…1 点
- ⑦ アムステルダムが国際商業・金融の中心となったこと…1 点

2 フランス絶対王政の確立

- ① ユグノー戦争に際して、フランスがイギリスの介入を受けたこと…1 点
- ② ユグノー戦争の終わりに、フランスでナントの王令(勅令)が出されたこと…1 点
- ③ ②の結果…下記をいくつか書いても 1 点
国内の宗教対立を克服したこと
個人の信仰の自由が認められたこと
ユグノーに旧教徒とほぼ同様の権利を認めたこと
- ④ (17 世紀前半に) 三部会の招集が停止されたこと…1 点
- ⑤ ルイ 14 世の時代に絶対王政(絶対主義、絶対君主制)の最盛期を迎えたこと…1 点
- ⑥ ルイ 14 世の時代にウェストファリア条約を結んだこと…1 点
- ⑦ ⑥により、フランスがアルザスなどを獲得したこと…1 点
- ⑧ コルベールが重商主義(コルベール主義)政策を進めたこと…1 点

3 イギリス重商主義

- ① (16 世紀後半) 絶対王政(絶対主義、絶対君主制)を確立していたこと…1 点
- ② (ピューリタン革命期に成立した) 共和政政府が重商主義政策を進めたこと…1 点
- ③ ②の一環として航海法が制定されたこと…1 点
- ④ ③がオランダに挑戦した政策であること…1 点

⑤ ③によってイギリス＝オランダ（英蘭）戦争が始まったこと…1点

⑥ ⑤の結果、オランダの商業覇権が後退したこと…1点

4 フランス経済の後退

① (17世紀後半に) ナントの王令(勅令) が廃止されたこと…1点

② ①が、旧教(カトリック)化のためであったこと…1点

③ ①の結果、ユグノーがオランダ(イギリス)に亡命したこと…1点

④ ③は、商工業者であったこと…1点

⑤ ③が、フランス経済を後退(停滞)させたこと…1点

5 英蘭同君連合の形成

① 名誉革命で議会主権が確立したこと…1点

② 名誉革命でイギリスとオランダが同君連合となったこと…1点

③ ②の結果、イギリスがオランダから資金を集められたこと…1点

④ ③の要因として、イングランド銀行が設立されたこと…1点

⑤ ③の要因として、イングランド銀行が国債制度を整備したこと…1点

⑥ ③の結果、フランスとの植民地戦争を優位に進められたこと…1点

6 論理構成点

※上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けています。解答欄の右上欄外に、+1を付けています。加点されない場合は数字なし。

① 下記のうち、5つ以上の加点ポイントを得ていること(イギリスーフランスーオランダ間の関係に触れていること)…1点

1③(蘭独立に対する英の支援)

1⑤(アンボイナ事件)

2①(ユグノー戦争への英介入)

3⑤(英蘭戦争)

4③(ユグノー亡命)

5②(同君連合)

5⑥(英仏植民地戦争)

第2問 文化の歴史 (配点20点)

※加点ポイントをすべて満たしていても、それ以外に明白な誤りがある場合は、満点を与えない。

※加点ポイントの合計が満点に達していても、設問全体の必須事項が欠けている場合は、満点を与えない。

※指定以外の解答欄に書いている場合は採点対象外とする。

問(1) (a) 3点 (b) 両方書けて1点

問(2) (a) 4点 (b) 3点

問(3) (a) 2点+1点=3点 (b) 3点 (c) 3点

問(1)

(a) 3点満点 ※①②がなければ満点にしない

- ① (魏で) 九品中正が行われたこと…1点
- ② ①では中正官が地方の人材を推薦したこと…1点
- ③ 豪族の子弟が高級(上級)官職を独占したこと…1点
- ④ ③により門閥貴族が生まれたこと…1点
- ⑤ ③により「上品に寒門無く, 下品に勢族なし」と揶揄されたこと…1点

(b) 1点 ※『文選』・杜甫 両方書けて1点, どちらかのみは加点なし

問(2)

(a) 4点満点 ※①⑥がなければ満点にしない

- ① 新たな仏教: 大乘仏教…1点
- ② ①では, 大衆の救済を重視したこと…1点
- ③ 旧来の仏教は, 出家して個人の解脱を重視したこと…1点
- ④ 都市B: プルシャプラ…1点
- ⑤ ④は, クシャーナ朝の都であったこと…1点
- ⑥ ④を中心に発達した仏教美術: ガンダーラ美術…1点
- ⑦ ⑥では, ヘレニズム文化の影響を受けた仏像が制作されたこと…1点

(b) 3点満点

- ① Cがカーブル(カブール)であること…1点
- ② ①からインドに侵入して建国された国がムガル帝国であること…1点
- ③ ②を建国したのがバーブルであること…1点
- ④ ③が, ロディー朝を倒して②を建国したこと…1点

問(3)

(a) 2点+1点=3点満点

- ヘミングウェー…2点
「ゲルニカ」…1点

(b) 3点満点 ※①②がなければ満点としない

- ① ヨーロッパの国: イタリア…1点

- ② アフリカの国：エチオピア… 1 点
- ③ (19 世紀末に) イタリアがエチオピアに敗北したこと… 1 点
- ④ (1930 年代に) イタリアがエチオピアを併合したこと… 1 点

(c) 3 点満点

- ① ウィーン体制下で、スペインにブルボン朝が復活したこと…1 点
- ② ①に対して立憲革命が起こったこと…1 点
- ③ ②によって自由主義政権が成立したこと…1 点
- ④ ③がフランス軍によって倒されたこと…1 点

第 3 問 ものと技術 (配点 20 点)

※漢字の誤りは不可。

※ひらがらな表記は不可。

※b 音を v 音で表記しているものは不可。

※音引きの有無や位置の違うものは原則不可。

※指定以外の解答欄に書いている場合は採点対象外とする。

※各 2 点

- (1) バビロニア 1 点
- (8) イギリス領マラヤ, マラヤ連邦 不可

以上